

2018年6月吉日

各 位

公益財団法人 大下財団

## シンポジウム『デング熱媒介蚊』開催のご案内

～生物学から防除対策まで 夏季の国際的なスポーツ大会開催に備えて～

日 時：2018年7月13日（金）13時～16時30分（受付：12時30分）

会 場：ベルサール八重洲「ルームA」（東京都中央区八重洲 1-3-7）

参加費：無料

拝啓

時下、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当財団活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

近年、地球環境の変化に加えて貿易の活性化や海外渡航者の増加により、世界との距離が縮まったことで、様々な外来生物による問題も顕在化しきており、私たちの生活環境はこれらの感染症や危険害虫によって常に脅威にさらされています。

公益財団法人大下財団（代表理事：大下俊明）では、これら身近に迫る脅威に対して、正しい知識と情報をお伝えすべくシンポジウム『デング熱媒介蚊～生物学から防除対策まで夏季の国際的なスポーツ大会開催に備えて～』を開催させていただきます。

今回のシンポジウム開催の大きな目的としまして、2019年9月から日本で開催されるラグビーワールドカップや2020年7月から東京で開催されるオリンピック、パラリンピックに向けての媒介蚊対策の問題点を明らかにすることにあります。さらには、夏季のアウトドアスポーツや旅行シーズンに向けての対策ともなるテーマとなっております。

日本は、2013年、2014年とデング熱の国内感染を経験し、媒介蚊の防除対策の重要性がある程度理解されてきたと思っておりますが、今一度、デング熱媒介蚊の対策の重要性を再認識し、新しい情報を共有させていただければと思っております。

当日は、国立感染症研究所名誉所員 昭和大学客員教授の小林睦生様が司会を務め、各分野の専門家6名の方々に、テーマごとにご講演をいただきます。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席を賜りたくご案内を申し上げます。

敬具

<公益財団法人 大下財団について>

平成23年3月創立。代表理事：大下俊明（フマキラー(株)取締役会長）

当財団は、公衆衛生の向上や生活環境の保護・保全を増進する取り組みを援助しています。

昨年は、フマキラー(株)と共催で、シンポジウム「身近に迫る脅威!! 2017夏 “ヒアリ侵入と昆虫媒介感染症の現状と対策”」を開催いたしました。

<本件に関するお問い合わせ先>

シンポジウム広報事務局 [(株)ハル・アド内] 担当：日向（ひなた）

TEL:03-6272-9322/FAX:03-6256-9791

E-Mail: hinata@haru-ad.co.jp

## 【開催概要】

- 名 称：『 Dengue 熱媒介蚊  
～生物学から防除対策まで 夏季の国際的なスポーツ大会開催に備えて～』
- 日 時：2018年7月13日（金）13時～16時30分（受付：12時30分）
- 会 場：ベルサール八重洲「ルームA」  
（東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2F）
- 参加費：無料
- 主 催：公益財団法人 大下財団
- 後 援：一般財団法人 日本環境衛生センター  
公益社団法人 日本ペストコントロール協会  
日本防疫殺虫剤協会
- 協 力：フマキラー株式会社
- 司 会：小林睦生（国立感染症研究所名誉所員 昭和大学客員教授）
  
- 講 演：1) 「蚊が媒介するフラビウイルス： Dengue ウイルスを中心に」 （25分）  
高崎 智彦（神奈川県衛生研究所所長）  
  
2) 「ヒトスジシマカ・ネッタイシマカの生態学」 （25分）  
比嘉 由紀子（国立感染症研究所 昆虫医科学部第1室室長）  
  
3) 「媒介蚊からの Dengue ウイルスの分離と媒介能」 （25分）  
江下 優樹（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 客員教授）  
  
・・・[休憩10分]・・・  
  
4) 「 Dengue 熱媒介蚊の分布と生態に与える気象条件」 （25分）  
駒形 修（国立感染症研究所 昆虫医科学部第3室主任研究官）  
  
5) 「2014年代々木公園における防除対策と媒介蚊発生状況」 （25分）  
木村 秀嘉（東京都福祉保健局健康安全部 環境保健衛生課課長）  
  
6) 「 Dengue 熱媒介蚊の防除と殺虫剤抵抗性」 （25分）  
川田 均（長崎大学 熱帯医学研究所准教授）  
  
7) 総合討論 （30分）

※上記講演時間には、質疑時間を含みます。